

歴史と文化を未来につなぐ「体験型複合施設」を創出します

宿泊・食事・ショッピング・音楽、エンターテインメント等、様々なコンテンツが揃え、まるで“ひとつの街のような空間”として本施設を整備していきます。

人々の趣味嗜好が多様化された時代に合わせて、興味・関心のきっかけを幅広く用意し、より多くの人に、日本の行刑・矯正と近代化の歴史を伝えていきます。

さまざまな観光ニーズに応える

1 「3つの宿泊スタイル」

文化財リノベーションホテル

ホテルコンセプト

「生きた歴史」を未来へ繋ぐ体験型宿泊空間

旧監獄棟をリノベーションし、歴史的な重厚さは守りつつ、“ホテルとして快適である”空間を提供していきます。



(約150室)

新設ホテル

ホテルコンセプト

歴史を見つめ、歴史を紡ぐ、新時代のステージ

重要文化財を眺める特等席であること。既存棟との関係性を重要視し、さまざまな方向から美しい煉瓦建築の建物を眺められるビューを確保すると共に、このホテル自体が施設全体の景観を高められるデザイン性を持たせます。



(約80室)

簡易宿泊型ドミトリー(MUJI HOSTEL)

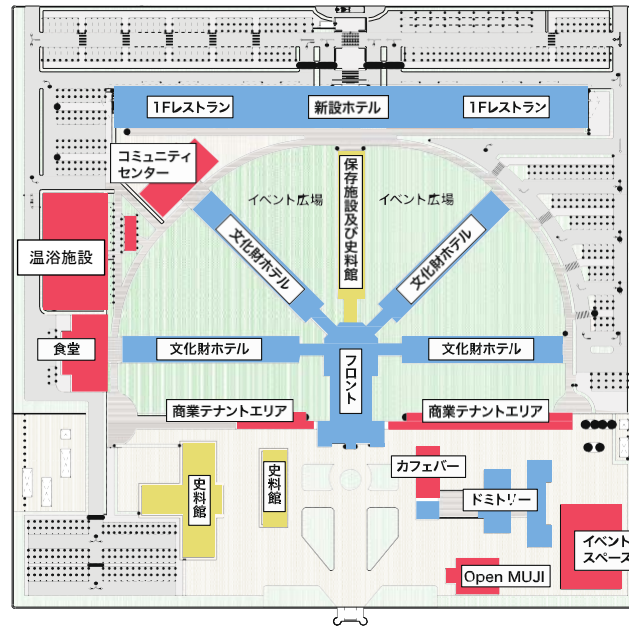
ホテルコンセプト

世界中の若者を刺激する文化と多様性の体験拠点

国内外で広く知られる「無印良品」ブランドのホステルを設置します。キッチンなどを完備し、長期宿泊に対応すると共に、文化的コミュニティを育むカフェバーや、工房・アトリエなども同時に整備することで、アート活動や伝統工芸体験を支援していきます。

(約60床)

[本施設全体イメージ]



生きた歴史を未来へと繋ぐ

2 「建築行刑史料館」

旧奈良監獄が担ってきた役割と、日本の行刑・矯正の歴史を伝えていくための史料館を整備。本施設の設計者である山下啓次郎氏のストーリーを軸とすることで、法務行政へ馴染みの薄かった若者世代や外国の人に対しても分かりやすい展示を行っています。



[史料館が担う役割]

- 観光として魅力あるコンテンツの提供
- 子どもたちに向けた正しい法教育の実施
- 歴史的史料のアーカイブ化と保存・管理、貸し出し

地産地消にこだわった

3 「レストランエリア」

奈良の工芸品や雑貨を取り揃えた

4 「商業テナントエリア」

ランニングステーション機能を持った

5 「天然温泉の温浴設備」

体験型観光を提供する

6 「コミュニティ空間」

Open MUJI(ラウンジ・共同工房・アトリエ)

JAZZ&日本酒カフェバー

施設全体の活気を生み出す

7 「イベントスペース」

